

## 特別の教科 道徳

### —特別の教科 道徳— 目標

よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方について考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

#### ◎児童の状況

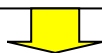
- 素直な気持ちをもつ児童が多く、資料の中の登場人物に自らを投影して考えることができます。道徳の授業を好む児童が多くいます。
- よりよい気持ちもちたいと願う児童が多くいますが、自分をよりよく高めていくためには、どうしたらいいのか、深く考える経験が少ないようです。

#### ◎指導についての課題

- 学習したことを振り返る時間を十分取り、日常生活の中でも自分を振り返る場を設けるようにしていく指導の工夫すること。
- 自分の気持ちを言葉で表現する力が弱いので、具体的な表現の仕方を身につける指導の工夫が必要である。

#### ◎授業改善に向けての具体的な方策

- 資料の登場人物に、自らの思いや考えを投影させることにより、自分の気持ちを整理する機会となるようにします。また、友達の考えに共感したり比べたりすることを通して、自分とは違う思いが理解できるようにしていきます。(他者理解)
- 友達や身近な人々など、様々な人たちとの直接的で多様な関わり合いに目を向けるようにしていきます。
- 資料で考えた事を自らの生活の中でも生かしていこうとする気持ちを高められるようにし、振り返りの場面を大切にしたい指導に取り組んでいきます。



- ・ICT機器を活用しながら、十分に資料の理解ができるよう適切な資料提示や細かな補助設問を心がけます。
- ・自らの思いを自由に発言できるような雰囲気づくりや、友達の意見からも素直に学ぼうとする態度の育成に努めます。
- ・教科書・道徳ノートを活用し、自分の思いや、考えを記録し、書くことで自分の思いを整理させると共に振り返る場の設定を行います。

#### ◎言語活動の充実

- 体験を通して、見つける、比べる、例える等、多様な視点からの言葉を活用させます。
- 集団での学習活動を行い、互いに気付いたことを交流し、ものの見方、考え方、発表の仕方を学ばせます。

#### ◎その他（補充・発展指導計画・問題解決能力等）

- 他教科等との関連指導や教科横断的な指導を工夫していきます。
- 自己の日常生活を振り返る場を設け、自己の生き方を自覚できるよう指導の工夫をしていきます。